

山行報告書

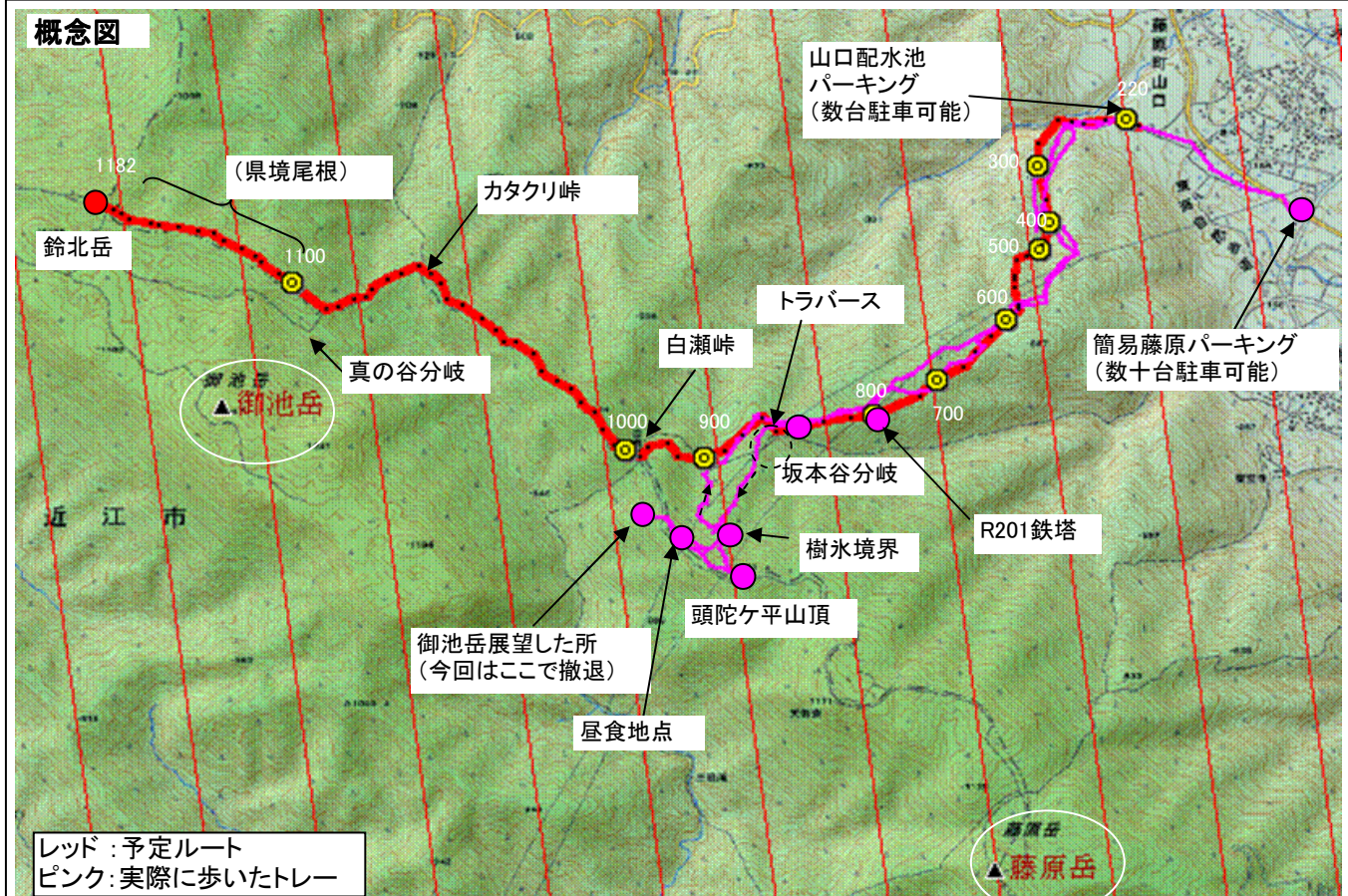
報告書作成

2012年2月18日

山名 [山域]	鈴北岳 (鈴鹿山脈、1182m)	目的と方法	樹氷の回廊を歩く
登山期間	2012年2月12日(日)	山行形態	雪山ピストン
参加人数	2人		

行動記録 【2/12(日)雪時々晴れ】

新城駅近くの碧海信用金庫P(500)==豊田南IC==桑名IC==藤原簡易パーキング(645,700)--R201鉄塔(9:20)--坂本谷分岐(945)--樹氷境界(1130)--頭陀ヶ平山頂(1200)--昼食地点(1215,1245)--御池岳展望地点(1315)--坂本谷分岐(1415)--藤原簡易パーキング(1610,1650)==新城駅近くの碧海信用金庫P(1815)



日誌:
 前日に雪が降ったのか標高600mを過ぎたあたりからトレースがなくなりちょっとしたラッセル状態。途中でワカンをつけて進んだが坂本谷分岐からの長いトラバースはいや～な雰囲気。雪が深かったのでトラバース道を終えたあたりから尾根沿いに上ったが登りきった所から見える木が全て樹氷になった。初めて見る光景でまじ凄かった。樹氷を眺めた後に、今日は鈴北岳までは無理なので山頂を踏もうと頭陀ヶ平に登る。風が横殴りで吹いており樹氷の森の中に入って昼食をとる。その後、御池岳が見える地点まで下る。眼前に迫る御池岳がだだっ広く大きくて遠い。下りは途中で出会った御池岳でテント泊をして下山中の5人パーティと一緒に新雪の中を快適に降りる(今回は雪が多い事もあるのか登山者には山の中でマタギらしい腰毛皮の2人連れと御池岳でテント泊パーティの2パーティにしかあわなかった)。

感想:

- ・今回は3月初の御池岳ツアーの下見も兼ねて急遽参加したが、想像以上に大変な山行だった。しかし、綺麗な樹氷を見て触って疲れは吹き飛びました。また見たい！！
- ・雪が深かったのでアイゼンではなくワカンをフルに使ったが、ワカン歩行のこつもだいぶわかってきた。
- ・雪山は夏山と違って状況がめまぐるしく変わるのでその場の的確な判断が重要な事、雪のない時期にちゃんとチェックしておく事の重要性、トレースがない時の心構えなど多くのことが学べた気がします。
- ・それにしても手が冷たいのはなんとかならんですかね～～(素手でタバコを吸う自分が悪いんですが)